

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2015年2月26日～3月4日)

平成 27 年(2015 年)3 月 6 日

H E A D L I N E S

政治

コモロフスキ大統領夫妻、日本を訪問
 ロシア野党指導者の暗殺へのポーランド政府の反応等
 スヘティナ外相、ウクライナ及びモルドバを訪問

経済

政策金利を1.5%に利下げ
 2月のPMIはわずかに減少
 2月は60社が倒産
 ポーランドの自転車産業が活況
 欧州委員会エネルギー同盟構想へ期待－経済省
 ピエホチンスキ副首相、エネルギー省の必要性を語る
 アズティ社がゼロ・エミッション発電プラントの建設計画を再検討
 アイルランド企業がポーランドで商業規模のシェールガスを発見
 KW社の再建には20億ズロチが必要
 炭鉱部門は2014年に15億ズロチの損失

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起
 大使館広報文化センターの開館時間について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696

5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政 治
外交・安全保障

コモロフスキ大統領夫妻、日本を訪問【2月26・27日】

2月26・27日、コモロフスキ大統領夫妻が訪日し、26日に天皇皇后両陛下との御会見、27日に日・ポーランド首脳会談が行われた。首脳会談においては、安倍総理とコモロフスキ大統領は、二国間関係を戦略的次元に格上げすることに合意した。また、両首脳は、日EU・EPAの早期合意に向けた協力を含む日EU関係、政治関係（日本側から「積極的平和主義」を説明）、ウクライナ情勢、二国間経済関係等につき意見交換した。また、この機会に共同声明「自由、成長、連帯への戦略的パートナーシップ構築」を发出すると共に、日・ポーランド・ワーキング・ホリデー協定への署名、日本貿易振興機構（JETRO）とポーランド情報・外国投資庁（PAIIZ）との相互連携強化に関する改定された覚書の交換が行われた。

ロシア野党指導者の暗殺へのポーランド政府の反応等【2月28日】

2月27日にロシアのネムツォフ露野党指導者が

モスクワで暗殺された事件に関し、28日、コモロフスキ大統領は哀悼の意を表すると共に、事件の全容が究明されることへの期待を示した。同日、コパチ首相も、事件への驚きを表すると同時に、ネムツォフ氏の民主主義への取り組みを強調した。3日に行われた葬儀には、ポーランドからはリティンスキ大統領顧問及びパヴリク外務次官が出席した。当初同葬儀にはボルセヴィチ上院議長が出席する予定であったが、ロシア政府はEUの制裁に対する対抗手段として同上院議長の入国を拒否した。3日、ポーランド下院は、ネムツォフ氏への哀悼の意と事件の全容究明を求める内容を決議を採択した。

スヘティナ外相、ウクライナ及びモルドバを訪問【2日】

2日、スヘティナ外相は、リデゴー・デンマーク外相と共にウクライナ及びモルドバを訪問し、両国の親欧州的な改革への支持表明、5月のリガにおける東方パートナーシップ首脳会合の準備調整、両国の安全保障環境の評価を行った。

経 済

経済・財政政策

政策金利を1.5%に利下げ【4日】

金融政策委員会（RPP）は月例会合を開催し、大方が予想した0.25%ポイントより更に大きい0.5%ポイント利下げし、基準金利を1.5%とした。RPPは長引くデフレ傾向と金融緩和

を理由として挙げており、現在労働市場以外はそれほど伸びていないため、賃金上昇率にも影響を与えようとしている。ベルカ総裁は、利下げできる余地があったため利下げした旨話している。

マクロ経済動向・統計

2月のPMIはわずかに減少【2日】

新規受注及び輸出は堅調な伸びを見せており、雇用も急速に増加しているものの、1月のPMIは、1月の55.2ポイントよりわずかに減少した55.1ポイントとなった。理由としては生産価格の上昇に反し、製品価格が以前上昇しないことが挙げられている。

2月は60社が倒産【4日】

2月は、前年同月の72社より減少した60社が倒産した。倒産した会社の総売上高は7億ズロチで1,200人が解雇された。なお、2014年には822社が倒産しており、2013年の926件より11%減少している。

ポーランド産業動向

ポーランドの自転車産業が活況【26日】

ポーランドの自転車市場は、輸出と国内市場に支えられ好調である。関係者によれば、2014年にはおよそ前年比16%増となる90万台が製造され、販売については、同15%増の120

万台であった。2013年には、ポーランドは欧州で第3位の自転車生産国であり、欧州内で8%のシェアであった。

エネルギー・環境

欧州委員会エネルギー同盟構想へ期待—経済省【4日】

2月末にエネルギー同盟に関する政策文書を欧州委員会が発表したことを受け、経済省トムチケビッチ副大臣は検討を開始していると述べた。また、同構想により欧州委員会がガスの共同購入に向けた枠組みづくりを始めることへの期待や、欧州域内の石油精製等上流のセクター属する企業の競争力や収益性を高める必要性について述べ、EU加盟国への働きかけを行うとも述べた。さらに、この構想の採択が決まる19日の欧州理事会が最も重要であると付け加えた。

ピエホチンスキ副首相、エネルギー省の必要性を語る【3日】

ピエホチンスキ副首相兼経済大臣は、今年秋の総選挙後に省庁再編が必要との認識を示した。同副首相は、今年1月に国有炭鉱企業の監督権が経済省から国有財産省へと移管された時から、省庁再編は始まっていると述べている。エネルギー省の所掌として、現在環境省が所掌している天然資源やシェールガス埋蔵量の把握についてもカバーすることになるだろう、とも述べている。

アゾティ社がゼロ・エミッション発電プラントの建設計画を再検討【26日】

アゾティ社がゼロ・エミッション石炭ガス化発電プラントの建設計画を再検討すると報じられている。このプロジェクトは、最低10億ユーロが必要であるが、政府も支援をするという。また、現在、社内で技術的な革新性、環境配慮及び収益

の観点でどのような変更が必要か分析しているとの同社広報の言葉が引用されている。

アイルランド企業がポーランドで商業規模のシェールガスを発見【26日】

アイルランドの石油ガス採掘企業であるSan Leon Energy社は、ヴィエルコ・ポルスキェ県のRawiczにおいて、商業規模のガスを発見したと発表した。2月に行われた抽出試験で順調な結果となったことを受けての発表であった。同社によれば、さらに3～5カ所掘る必要があるという。

KW社の再建には20億ズロチが必要【2日】

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社のセンジコフスキCEOは、同社の経営再建のため、2016年上期末までに20億ズロチを必要としていると述べた。同CEOは現在新KWの出資先について交渉中であると述べるとともに、Brzeszczne炭鉱についても売却交渉の最中であると述べた。

炭鉱部門は2014年に15億ズロチの損失【3日】

コヴァルチク国有財産副大臣は、下院においてポーランドの炭鉱部門は2014年に15億ズロチの損失であると発言した。このうち、もっとも大きかったのは、コンパニア・ヴェングロヴァ社の12.5億ズロチに上る販売の減少であるという。また、2014年の石炭生産は前年比5.2%減の7.25億トンとなり、販売は同3.3%減の7.03億トンと説明している。

大使館からのお知らせ

ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起

当館ホームページにおきまして、「ポーランドにおけるテロ関連情勢及び注意喚起」を掲載しております。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/chian.info.pdf>

大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事

【開催中】ロジカル・エモーション—日本現代美術展 【～4月26日（日）】

クラクフ市にて、クラクフ現代美術館主催による『ロジカル・エモーション—日本現代美術展』が開催中です。13名の日本人アーティスト、建築家、デザイナーによる絵画、彫刻、インスタレーション、写真、映像、デザイン、工芸、漫画、建築等様々なジャンルの作品が展示されています。

開催場所：クラクフ、クラクフ現代美術館、ul. Lipowa 4

詳細：<http://www.mocak.pl/logiczna-emocja-wspolczesna-sztuka-japonska>

【開催中】ポーランドの日本美術傑作展 【～5月18日（月）】

クラクフにて、日本美術技術博物館 Manggha 主催による『ポーランドにおける日本美術傑作展』が開催中です。葛飾北斎の東海道五十三次浮世絵をはじめとする浮世絵、彫刻、絵画に加え、根付や屏風、着物、楽器、武具、刀剣など、多岐に亘るジャンルの日本美術品が展示されています。

開催場所：クラクフ、日本美術技術博物館 Manggha、ul. M. Konopnickiej 26

詳細：<http://manggha.pl/exhibition/26>

【予定】第13回折り紙祭り、第8回 折り紙マスター・コンクール【3月7日（土）】

ビャウイストク市にて第47小学校、ポーランド折り紙センタービャウイストク支部共催による第13回折り紙祭り、第8回折り紙マスター・コンクールが開催されます。

開催場所：ビャウイストク市、第47小学校、ul. Palmowa 28

詳細：<http://origami.org.pl/index.pl.html>

【予定】日本映画祭【3月11日（水）～15日（日）】

ワルシャワの映画館 Iluzjon にて「日本映画祭」が開催されます。各映画入場料 14 PLN。（英語・ポーランド語字幕付）

上映スケジュール：

11日（水）20：00 「桐島、部活やめるってよ」（吉田大八監督、2012年）

12日（木）20：00 「遺体～明日への十日間」（君塚良一監督、2013年）

13日（金）20：00 「ももいろそらを」（小林啓一監督、2012年）

14日（土）19：45 「この空の花」（大林宣彦監督、2012年）

15日（日）19：45 「横道世之介」（沖田修一監督、2013年）

開催場所：ワルシャワ市イルジヨン映画館「Iluzjon」、ul. Narbutta 50a

詳細：

<http://www.iluzjon.fn.org.pl/aktualnosci/info/450/przegląd-nowego-kina-japonskiego-w-iluzjonie.html>

主催：在ポーランド日本大使館、国際交流基金、イルジヨン映画館

【予定】学会「日本文化：映画・演劇・漫画・アニメーション」【3月18日（水）～20日（金）】

ポズナン市にてアダム・ミツケヴィチ大学ポーランド・古典文献学部映画・テレビ・ニューメディア研究所主催による学会「日本文化：映画・演劇・漫画・アニメーション」が開催されます。日本に関する様々な講演が予定されています。

開催場所：ポズナン市、アダム・ミツケヴィチ大学ポーランド・古典文献学部、ul. Fredry 10

詳細：

<http://creativa.amu.edu.pl/studencko-doktoranska-ogolnopolska-konferencje-naukowa-kultura-japonii-kino-teatr-komiks-animacja/>

【予定】国際武道基金ポーランドカップ【3月21日（土）】

ウッチ市にてスレイ・ノ・モン基金主催による国際武道基金ポーランドカップが開催されます。

開催場所：ウッチ市、Obiekt Sportowy MOSiR、ul. Małachowskiego 5/7

詳細：<https://www.facebook.com/events/1544656445810748/>

【予定】日本語 弁論大会【3月21日（土） 12：30～16：30】

ワルシャワ大学旧図書館講堂にて、第36回日本語弁論大会が開催されます。ポーランド人日本語学習者による素晴らしいスピーチを是非聞きにおいでください。大会後、懇親会も予定されています。(入場無料)

開催場所：Old Library (Stary BUW) University of Warsaw, ul. Krakowskie Przedmiescie

詳細：http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_benron2015.pdf

〔予定〕「世界 ポエマ・ナイヴネ」朗読ワークショップ参加者募集

2015年3月28・29日に開催予定の詩の朗読会にむけて朗読ワークショップを行います。チェスワフ・ミウオシュ Czesław Miłosz の詩篇『世界 ポエマ・ナイヴネ』(原題: „Świat, poema naiwne”)を朗読します。ワークショップへの参加・朗読会出演を希望される方を募集しています。

主催：Fundacja Sztuki Marebito

ワークショップ開催場所：ポーランド日本情報工科大学 Polsko-Japońska Akademia Technik Komputerowych (ul. Koszykowa 86, Warszawa)

詳細：<http://posluchajswiata.com/jp>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。
在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp (ご連絡は電子メールでお願いします。)